



衝突警報装置

取扱説明書

XLAS-303

Ver1.01

もくじ

製品について	2
安全上のご注意	3
使用前の注意事項	5
各部の名称とはたらき	6
●カメラの各部の名称とはたらき	6
●カメラ LED 表示について	6
●カメラ音量調整	6
●モニターの各部の名称とはたらき	6
●モニター電源 ON/OFF について	6
●モニターでの音量調整	6
●モニター明るさ調整	6
●内容物の確認	6
モニター表示と警告音	7
車線逸脱警報	9
前方車間距離警報	10
前方衝突警報 / 低速時前方衝突警報	11
前方車発進検知	12
標識認識	13
機能一覧	14
仕様	15

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは「取付説明書」「保証書」と一緒に大切に保管し必要になったときに取り出せるようにしてください。

お使いになる前に

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は単眼カメラでの画像処理により車線逸脱と車両前方の危険を予測し、運転者に注意を喚起して危険回避の補助を行う装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。またお読みになった後も大切に保管し、必要なときに取り出してお読みください。取扱説明書の内容は、商品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。

最新の取扱説明書は、ホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は車線逸脱と車両前方の危険を予測し運転者に警報を発する高度な運転者支援システムです。
- 本製品は警報を発することにより運転者に注意を喚起することを目的とした製品ですが本製品の設置により運転者は通常の安全運転の義務を免れるものではありません。運転時は常に前方車との車間距離や、周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど、安全運転に努めてください。
- 本製品は自動運転システムではなく、運転者の車両制御や安全運転の代替として作動するものではありません。本製品に頼った運転は、絶対に行わないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車両や走行車線の検出、その他潜在的な道路上の危険を全て認識することを保証するものではありません。
- 本製品は運転者の判断を補助し、事故被害の軽減を目的としています。衝突警報が作動した場合は前方や周囲を確認の上、運転者の判断でブレーキペダルを踏むなどの適切な操作をしてください。
- 道路、天候およびその他の条件により、前方の車両や車線を認識しづらくなり、状況によっては本製品の認識性能が下がる場合があります。走行車線がはっきりと印された舗装道路での使用を目的としています。
- 運転者は走行中に本製品のモニターを注視するなど、前方不注意を行わないでください。
- 認識性能には限界があります。本取扱説明書を必ず参照のうえ、正しくご使用ください。誤った使用をすると、適切に制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 警報機能は、あらゆる状況で注意を知らせるものではありません。警報機能に頼らず、十分に安全を確認して運転してください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも、警報を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても、当社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品本体及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警 告

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



安全のため運転者は、走行中に操作しない、また、走行中画面を見るときは、必要最小限にしてください。前方不注意などにより、思わぬ事故につながる恐れがあります。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり、異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源コードを抜いてください。



本製品（付属品を含む）を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、保証の対象外となります。



電源コードを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。コードが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。



本製品を任意に外したり、衝撃を与えたり、高い所から落とさないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源コードを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けするときは、必ず付属の取り付け部品、ブラケットを使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。
指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼してください。誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。



フロントガラスの汚れを拭き取り、綺麗な状態でご使用ください。



本製品の取り付け両面テープに水気が入らないようにしてください。



本製品の周辺に物を取り付けしないでください。周囲の物の反射や影による影響で、性能が低下する恐れがあります。



本製品の設置後、元の位置からずれた場合、性能が低下する恐れがあります。ブラケットとネジによる固定をしっかりと行ってください。



カメラの下部の USB コネクタは、専用ケーブルを接続して取り付けの設定をするためのものです。他の目的には使用しないでください。



本製品が警報したときにハンドルを必要以上に回さないでください。



反射されるもの（白い紙や鏡など）をダッシュボード上に載せないでください。
日光の反射で誤動作を起こすことがあります。



カメラやモニターは、覆ったりふさいだりしないでください。
カメラの視界を部分的または完全にふさぐような状況が発生すると、本製品のシステムが機能しない場合があります。常にカメラの視界が完全に確保されているよう注意してください。

製品の使用前の注意事項

■ 本製品を使用する前に本取扱説明書を確認し、安全に正しくお使いください。

■ 以下のようなときは、前方の車両や車線を認識しづらくなり、状況によっては認識性能が下がる場合や機能が低下する場合があります。

- ・ 前方から西日などの強い光をうけたとき、対象物が強い光を受け反射しているとき
- ・ カメラのレンズ部に汚れが付着しているとき
- ・ 温度が極端に高いとき
- ・ エンジン始動直後
- ・ 荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき
- ・ 前方車などの水、雪などの巻上げ、水蒸気、砂、煙などにより視界が十分でないとき
- ・ 前方車がキャリアカーやゴミ収集車などの特殊車両や、形状が壁状でない車両のとき
- ・ でこぼこ道やオフロードなどの悪路を走行しているとき
- ・ トンネルの出入り口など急に車両外部の明るさが変化する場合
- ・ 夜間またはトンネル区間で車両のヘッドライトを使用しなかったり明るさが十分でない場合
- ・ バス専用道路などのように左側又は右側の車線が二つ以上ある場合
- ・ 周囲照明の影響によって車線逸脱警報装置が車線色を区分するのが難しい場合
- ・ 車線がとても狭い場合やとても広い場合
- ・ 中央分離帯などの影が車線を覆う場合
- ・ 車線付近に車線以外の跡があったり車線と類似した表示がある場合
- ・ 歩道ブロックなどの境界構造物がある場合
- ・ 前方車との距離が極端に近かったり前方車が車線をはみ出して走行している場合
- ・ 車線数が増加、減少する区間または車線が複雑に交差する場合
- ・ ダッシュボードにものを乗せた場合、車両のフロントガラスが汚れているとき
- ・ 工事区間など車線が混雑した場合
- ・ 車線が二本以上の場合
- ・ オーディオ等の音量が大きい場合は各種警報音が聞こえないことがあります。

警 報	走行速度(km/h)				
	0	1	20	30	40以上
前方車発進検知					
標識認識					
低速時前方衝突警報					
前方衝突警報					
前方車間距離警報					
車線逸脱警報					

走行速度と警報の左表で示すように本製品は 0km/h 以上の車両走行に対して種々の警告を使い安全運転を支援します。警告条件が重なって同時に発生した場合にカメラの設定条件により他の警告を発生できなかったり、モニター表示で複数の重なった警告表示になってしまう場合があります。

■ モニターの液晶ディスプレイについて

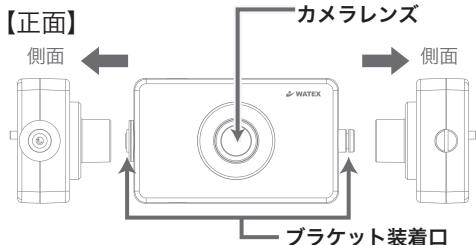
- ・ 液晶ディスプレイを強く押さないでください。変色する場合があります。
- ・ 本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。(車用のサンシェードなどをご使用ください。)
- ・ 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %以上の精度で管理されていますが、0.01 % 以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■ お手入れについて

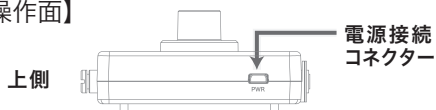
- ・ エンジンを切り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)
- ・ 濡れた雑巾・有機溶剤 (ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。(表面が侵されることがあります。)
- ・ 硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

各部の名称とはたらき

〈カメラの各部の名称とはたらき〉



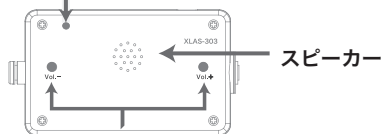
【操作面】



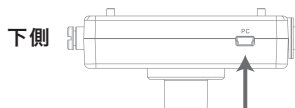
LED ランプ

LED ランプの点灯と状態について

色	状態
緑色	正常作動中
赤色	カメラエラー
青色	PC 接続時
白色	通信エラー
水色	サウンドデータエラー
黄色	正常動作中 (車線逸脱警報 OFF 時)



音量調整ボタン
+ボタンを押す：音量が上がる
-ボタンを押す：音量が下がる



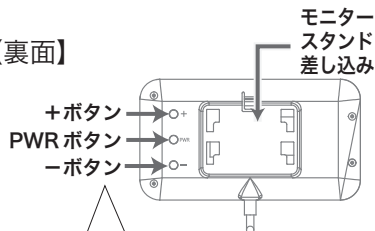
PC 通信コネクター
→ 専用ケーブルを接続して
取り付けの設定をするため
のものです。他の目的には
使用しないでください。
(取付説明書参照)

〈モニターの各部の名称とはたらき〉

【正面】

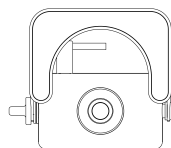


【裏面】

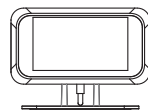


PWR ボタンを押す：電源 ON/OFF (カメラ・モニター共通)
+ボタンを押す：音量が上がる
-ボタンを押す：音量が下がる
PWR ボタンを 2 秒間押す：明るさ調整モード
(明るさ調整モード中)
+ボタンで明るく、-ボタンで暗くなる
明るさ調整範囲は 1 ～ 5 (初期値は 5)
明るさ調整モード中、5 秒間操作がない場合
明るさ調整モードを終了します。

〈内容物の確認〉



カメラ × 1
(両面テープ付きブラケット)



モニター
(モニタースタンド)



ケーブルハブ × 1



保証書 × 1



メイン電源ケーブル × 1

取扱説明書 × 1



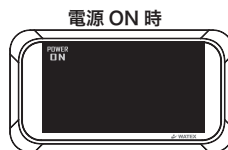
車両信号ケーブル × 1

取扱説明書 × 1

モニター表示と警告音

モニターの警告表示についての説明

1. 車線逸脱警報
2. 前方車間距離警報
3. 前方衝突警報
4. 低速時前方衝突警報
5. 前方車発進検知
6. 標識認識



画面左上に「POWER ON」と表示されます。

- 前方衝突警報、標識認識(速度)以外の警告音は「警報+音声」「警報のみ」「音声のみ」から選択できます。

1. 車線逸脱警報：走行中に意図せず車線を越えたときのモニター表示と警告音

設定速度 (40km/h ~ 80km/h) 以上で機能 ※ウインカーを出して車線変更した場合は車線逸脱を警告しません。

警告内容	警告音「警報」+「音声」	モニター表示
左車線逸脱	ルルルル「左車線ご注意ください」	左車線
右車線逸脱	ルルルル「右車線ご注意ください」	右車線

2. 前方車間距離警報：走行中に前方車に近づき危険だと判断したときのモニター表示と警告音

設定速度 (20km/h ~ 80km/h) 以上で機能 表示可能秒数：0.1 ~ 2.5 (0.1 秒ごとに表示)

警告内容	警告音「警報」+「音声」	モニター表示
前方車を確認 前方車との車間時間が2.5秒~2.0秒になったとき	警告音なし	車緑色
衝突の危険性がある 前方車との車間時間が2.0秒~設定値になったとき 設定値は0.5秒~2.0秒の間で選択可能	警告音なし	車黄色
衝突の危険性が高い 前方車との車間時間が設定値~0.5秒になったとき 設定値は0.5秒~2.0秒の間で選択可能	ブーン「前方ご注意ください」	車橙色
衝突の危険性が非常に高い 前方車との車間時間が0.4秒以下になったとき	ビビビビビビ	車赤色 背景赤茶色

モニター表示と警告音

3. 前方衝突警報：走行中に前方車に近づき危険だと判断したときのモニター表示と警告音

設定速度（20km/h～80km/h）以上で機能 ※ブレーキペダルを踏んでいるときは警告しません。

警告内容	警告音「警報」	モニター表示
衝突の危険性が非常に高い 前方車両との相対速度などから 衝突する危険性があるときに警報 (衝突まで2.7秒以内のときに警告)	ビビビビビビ (警報中継続)	車赤色  背景赤色

4. 低速時前方衝突警報：低速走行中に前方車に近づき危険だと判断したときのモニター表示と警告音

速度：1～30km/hで機能

警告内容	警告音「警報」+「音声」	モニター表示
衝突の危険性がある 低速走行時、前方車との距離が (1～10m)に近づいたときに警告	ビッビッビッ「前方をご確認ください」	車赤色  背景赤茶色

5. 前方車発進検知：前方車の発進後に自車が停止し続けたときのモニター表示と警告音

停止中(0km/h)、前方車両が発進したときに機能

警告内容	警告音「警報」+「音声」	モニター表示
前方車を確認したとき (停車時)	警告音なし	車灰色 
前方車離れアラーム 前方車発進お知らせ	ピンポーン「前方をご確認ください」	車橙色 

6. 標識認識：最高速度の標識※を認識し、表示速度を超えて走行しているときのモニター表示と警告音

※認識可能な最高速度標識（最高速度30、40、50、60、70、80km/h）

警告内容	警告音「警報」	モニター表示
標識を確認したとき (表示速度を超えて走行しているとき)	ビッビッ	最高速度  背景赤茶色

車線逸脱警報

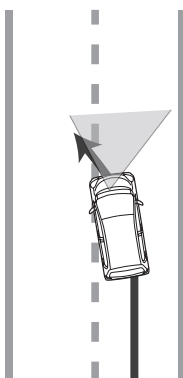
車線逸脱警報は、道路上の車線を知覚し、車線逸脱をドライバーに警告するシステムです。直線状態が続き漫然とした運転になりがちな高速道路などで特に効果的なシステムです。ウイinker操作をしている場合など、ドライバーが意図的に車線をまたぐ運転をしていると認識した場合には、警告を発生しません。

ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

- 運転者が意図せず、車両が右または左車線に近づく、と、警告します。
- 設置時に設定した速度（40～80km/h）以上で走行しているときに機能します。※
- 設置時に感度設定を行います。-20～+20※
- 以下の状態では、警告を発生しません。
 - ・ウイinkerを使用した場合
 - ・設定速度以下の速度で走行中の場合
 - ・システムがOFFになっている場合
- 警告音およびモニター表示で警告します。
- 道路状況、天候状況、運転状況によっては、車線を認識しない場合があります。

検出イメージ

【左車線逸脱】



【モニター表示】

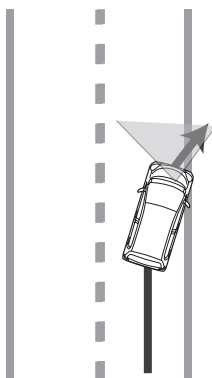
左車線



【警告音種類】※

ルルルル「左車線にご注意ください」

【右車線逸脱】



【モニター表示】

右車線



【警告音種類】※

ルルルル「右車線にご注意ください」

※警告音の種類、感度と機能速度の設定値は、取り付け設定時に選択し決定します。

一度決定するとユーザーでは変更できません。

警告音は「警報+音声」「警報のみ」「音声のみ」から選択できます。

前方車間距離警報

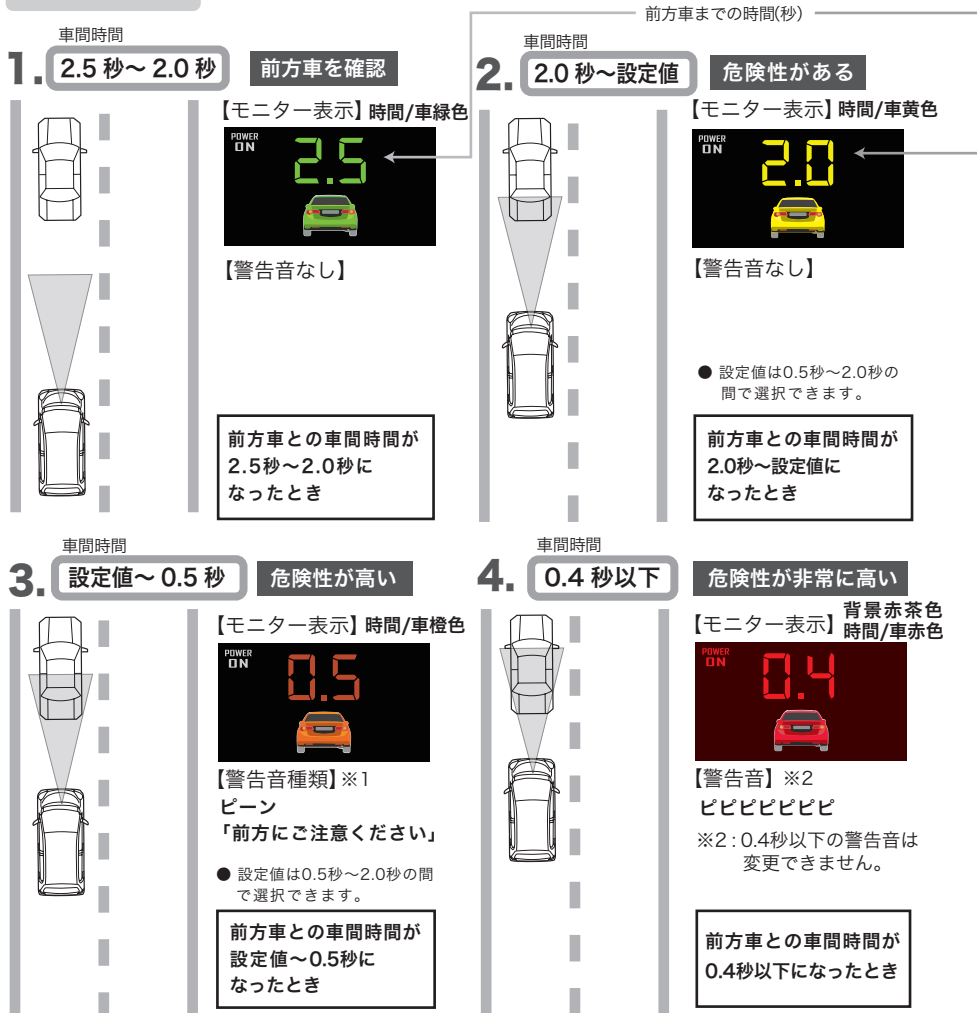
前方車間距離警報は、自車速度から前方車との衝突までの時間を計算し、衝突の可能性がある状態まで接近した場合に警告音とモニターの表示で、運転者に衝突の危険性を知らせます。

ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

- 前方車との距離を測定し、設置時に設定した値以下の秒数になると警報します。さらに、0.4秒以下になると、警告音と赤色のモニター表示で警告します。
- 設定速度（20～80km/h）以上で走行しているときに機能が有効となります。※1
- 設定された秒数によって警告音およびモニター表示で警告します。

検出イメージ

前方車との距離を時間で表示します。



※1: 警告音の種類、車間時間と機能速度の設定値は、取り付け設定時に選択し決定します。

一度決定するとユーザーでは変更できません。

警告音は「警報+音声」「警報のみ」「音声のみ」から選択できます。

前方衝突警報

前方衝突警報は、前方車両との相対速度などから、衝突する危険性があると判断したときに緊急警告音とモニターの表示で、運転者に衝突の危険性を知らせます。

ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

- 衝突まで 2.7 秒以内のときに警告
- 設定速度（20 ～ 80km/h）以上で走行しているときに機能が有効となります。
- 機能速度の設定値は、取り付け設定時に選択し決定します。
一度決定するとユーザーでは変更できません。
- 警告音およびモニター表示で警告します。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは警告しません。

検出イメージ

危険性が非常に高い

【モニター表示】
背景赤色/車赤色



【警告音】※ 前方衝突警報の警告音は変更できません。
ビビビビビビ（警報中継続）

低速時前方衝突警報

交差点走行や渋滞中などの低速走行時、前方の車両に（1 ～ 10m）近づいたときに警告します。

ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

- 前方車両（1 ～ 10m）に近づいたときに警告音と赤色のモニター表示で警告します。
- 速度（1 ～ 30km/h）で走行しているときに機能が有効となります。
- 警告音の種類、警報距離、機能速度の設定値は、取り付け設定時に選択し決定します。
一度決定するとユーザーでは変更できません。

検出イメージ

危険性が高い

【モニター表示】
背景赤茶色/車赤色



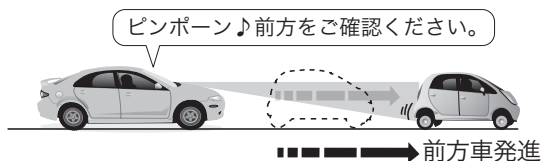
【警告音】※
ビッビッビッ「前方をご確認ください」

※ 警告音は「警報+音声」「警報のみ」「音声のみ」から選択できます。

前方車発進検知

信号待ちや渋滞などで停車中、前方車が発進しても自車が発進しない場合に、警告音とモニターの表示で運転者に前方車の発進をお知らせします。

前方車発進検知は、あらゆる状況での前方車の発進を知らせるものではありません。
前方車発進お知らせ機能に頼らず、十分に安全を確認して運転してください。



- 信号待ちや渋滞などで停止しているときに前方車が走り出した後、発進しなかった場合に警告音とモニター表示で知らせます。

1. 前方車を確認したとき

【モニター表示】車灰色



【警告音なし】



2. 前方車離れアラーム

【モニター表示】車橙色



【警告音種類】※

ピンポーン「前方をご確認ください」



※ 警告音の種類は取り付け設定時に選択し決定します。

一度決定するとユーザーでは変更できません。

警告音は「警報+音声」「警報のみ」「音声のみ」から選択できます。

標識認識

標識認識は、前方の最高速度標識をカメラでとらえて標識を認識し、表示速度を超えて走行しているときに警告音とモニターの表示で、運転者にお知らせします。

ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

検出イメージ

- 最高速度標識 (最高速度 30、40、50、60、70、80km/h) の標識を認識します。
- 警告音およびモニター表示で警告します。

【モニター表示】

背景赤茶色/最高速度標識



【警告音】※ 標識認識の警告音は変更できません。

ピッピッ

最高速度標識

表示速度を超えて走行しているときに赤茶色背景で警告

機能一覧

車線逸脱警報

動作環境	設定速度(40km/h～80km/h)以上、日中、夜間(豪雨や霧を除く)、 ※ウインカーを出して車線変更した場合は警告しません。
警告方法	警告音、音声 または 警告音 + 音声 及び モニター表示
感度	調整可能(-20～+20)

前方車間距離警報

検出対象	車両	安定検出距離	50m以内
車両検出距離	約 100m以内の前方車両距離を検知		
警告時間	前方車両の車間距離が2.5秒～2.0秒で確認しモニター表示(緑色) 2.0秒～設定秒数(※) までモニター表示(黄色) 設定秒数(※)～0.5秒で警報とモニター表示 (橙色) 0.4秒以下、警告音(変更不可)とモニター表示(赤色) ※設定秒数は0.5秒～2.0秒で選択可能		
動作環境	設定速度(20km/h～80km/h)以上、日中、夜間(豪雨や霧を除く)		
警告方法	警告音、音声 または 警告音 + 音声 及び モニター表示		

前方衝突警報

検出対象	車両
動作環境	設定速度(20km/h～80km/h)以上、日中、夜間(豪雨や霧を除く) ※ブレーキペダルを踏んでいるときは警告しません。
警告条件	前方車両との相対速度などから、衝突する危険性があると判断したときに警告 衝突まで2.7秒以内のときに警告
警告方法	警告音(変更不可) + モニター表示

低速時前方衝突警報

検出対象	車両
動作環境	速度：1～30km/hにて機能
警告距離	前方車両に近づいたとき(1～10m)で警告
警告方法	警告音、音声 または 警告音 + 音声 及び モニター表示

前方車発進検知

検出対象	車両
動作環境	停止中(0km/h)、前方車両が発進した時に機能
警告方法	警告音、音声 または 警告音 + 音声 及び モニター表示

標識認識

検出対象	道路に設置されている最高速度標識 (日中のみ)
動作環境	最高速度標識の表示速度を超えて走行しているときに警告
警告方法	警告音(変更不可) + モニターに表示

仕様

【仕様および規格】●製品の外観、仕様および定格などは改良のため、予告なく変更することがあります。

外形寸法	カメラ：約90(W)×55(H)×23(D)mm モニター：約95(W)×52(H)×11(D)mm			外部 入出力	カメラ	メイン電源接続 USB(miniB)端子(PC接続用)
重量	カメラ：90g(本体のみ)/モニター：110g				ケーブルハブ	車両信号接続・カメラ接続・ モニター接続
カメラ	C-MOSセンサー			動作温度	カメラ	：-20℃～+85℃
スピーカー出力	あり、音量調節あり、音量調整制限あり				モニター	：0℃～+60℃
電源電圧	12V/24V	消費電力	最大5W	保存温度	カメラ	：-30℃～+105℃
					モニター	：-20℃～+80℃
製品構成	カメラ、カメラブラケット、モニター、モニタースタンド、ケーブルハブ、メイン電源ケーブル、 車両信号ケーブル、取扱説明書、設置説明書、保証書					

【音声ガイダンス】※取り付け後はユーザーによる音声の種類変更はできません。

- 前方衝突警報、標識認識、前方車間距離警報（0.4秒以下）以外の
警報は㊦「警告音」㊩「音声」㊧「警告音+音声」から選択できます。

音声の設定が可能な警告音

音声選択	㊦ 警告音	㊩ 音声	㊧ 警告音 + 音声
車線逸脱警報	ルルルル	右(左)車線にご注意ください。	ルルルル 右(左)車線にご注意ください。
前方車間距離警報 車間距離が設定値以下 になったとき	ピーン	前方にご注意ください。	ピーン 前方にご注意ください。
低速時前方衝突警報	ピッピッピッ	前方をご確認ください。	ピッピッピッ 前方をご確認ください。
前方車発進検知	ピンポーン	前方をご確認ください。	ピンポーン 前方をご確認ください。

音声の設定ができない警告音

1. 前方車間距離警報（衝突までの時間が0.4秒以下のとき）：ビビビビビビ
2. 前方衝突警報：ビビビビビビ（警報中継続）
3. 標識認識：ビッピッ

 WATEX サポート窓口のご案内

株式会社ワーテックス

お客様サポートセンター係

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13



0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)

URL <http://www.watex-net.com/>